

評価年度

令和 5 年度

## 1. 基本情報

公の施設名	利府町西部児童館
指定管理者名	特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町菅谷台三丁目16番地 ・敷地面積：1,465.86㎡ ・建物概要：鉄筋コンクリート造 2階 建築面積 393.95㎡ 延床面積 512.03㎡ 駐車場 16台 駐輪場 17.64㎡ ・主な施設：乳幼児室、児童クラブ室、図書・集会室、調理・工作室、遊戯室
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

## 2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
【参考】来館者数合計(人)	18562	18876			
来館利用者数合計(人)	18876	18649			

## 3. 成果指標の達成度

## 指標 1

指標名(単位)	児童館事業の参加数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業（「子育て広場」を除く）に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(人)	1338	1879			
実績値(人)	1879	2181			
達成度(%)	140.4%	116.1%			

## 指標2

指標名(単位)	子育て広場利用者数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業「子育て広場」に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(人)	702	693			
実績値(人)	693	727			
達成度(%)	98.7%	104.9%			

評価(5段階)	評価理由
S	コロナウイルス感染症5類に移行になり、安全対策を講じながら、以前に比べ来館者数が増えている。

## 4. 事業の実施状況

### (1) 指定事業

#### ① 児童館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館	4月～3月	「子どもの笑顔と元気な声がひびく児童館」そして、『地域に生きる・地域と生きる』をスローガンに掲げ、利府西部地域の人々や関係機関と緩やかに手をつなぎ、子どもたちの居場所について考え実践してきました。それは子ども基本法を根底に置き、児童館でしかできない切れ目のない支援を実践するために乳幼児期から高校生までのゴールデンルートととらえ、連続した関わりを地域と連携しながら育成してきました。
児童クラブ	4月～3月	児童クラブ運営指針にもある「子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援（育成支援）」「保護者との連携」「子どもの発達理解」を柱に、利府町児童クラブ条例に従った運営を行いました。子どもが自発的に児童クラブに通えるよう生活の中で以下の7つの項目を意識しデイリープログラムを充実させます。①あそび②くつろぎ③生活に必要なこと④自主的に学習する⑤集団で生活するために必要なこと⑥静養する⑦季節の行事・文化的活動を行い安全と安心に留意しながら運営してまいりました。
子育て広場	4月～3月	子育て支援は0～18歳までの児童ということを確認し、産後からではなく、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を様々な機関と連携しながら実践してきました。それは、妊娠期からの子育て、乳幼児親子の活動など、親子で楽しむ身体あそび、おはなし会、造形あそびや音楽あそび等みんなで楽しさを体験できる場を提供し、また「親子の育ちの場」としてコミュニケーションを根底に実践してきました。

### (2) 提案事業

#### ① 児童館 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
小中高生定例企画 みんなであそぼう	5月～2月	子どもたちの「やってみたい！」をりふボラ（小学4年生～中学生を対象とした活動）から吸上げ、みんなで楽しめるイベントを実現しました。
小中高生定例企画 子どもボランティア りふボラ	5月～2月	子どもボランティアとして、児童館行事のお手伝いや、自分たちで企画した行事を実施。菅谷台夏祭り手伝いやハロウィン行事の手伝い等行いました。
りふ～るのHappy ハロウィン!!	10月	年に1回の収穫祭、ハロウィンにちなんで、仮装して過ごします。最後は、地域に出て仮装行列をして近隣の方に協力をいただき、子どもたちにお菓子を配りました。
地域の人と遊ぼう	11月	地域の方々と結成する「更生保護女性会」の皆さんと子どもたちと触れ合う遊びを実施。お互いに顔の見える関係ができ、世代間交流にもつながりました。
ゆきだるまーけっと	1月	コロナ禍の時に子どもたちの声から始まった企画。自分たちの作品を町内のお店に飾り、笑顔から元気になってもらおうという企画、約3週間で制作から展示までの長い期間をかけての企画となりました。

### ②児童クラブ 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
プラバンづくり	5月	自分の好きなデザインをキーホルダーにする企画。プラバンの形ができるまでいろいろな形をしながらできていく光景に子どもたちは目が輝いていました。
じゃがいも掘り	8月	子どもたち自身が、畑の土づくりから育てたジャガイモを収穫する企画。思っていた以上に収穫でき、数個ずつおうちに持って帰り食べてもらいました。
ちいさなちいさな夏祭り	8月	夏休み中のお楽しみ行事として、水ヨーヨー釣りや千本引き・しおり作り・かき氷を食べて遊びました。
クリスマスお楽しみ会	12月	児童クラブでの活動の中で、子どもたちが自分たちで企画し、普段遊びの中で練習してきた出し物をみんなの前で披露するお楽しみ会をおこないました。
りふ〜る☆駄菓子屋さん	3月	地域の企業さんよりいただいたお菓子を子どもたち自身が考え、みんなで楽しめる企画として開催しました。

### ③子育て広場 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
『はい！タッチ』 ・きら☆リズム、ナーサリーリズム	5月～2月	英語のわらべ歌やふれあい遊びを体験する「ナーサリー広場」、音楽で遊ぶ「きら☆リズム」、その2つを一緒に「ナーサリーリズム」を統合し活動しました。
おはなしのひ	5月～2月	親子に手遊び、わらべうた、紙芝居、読み聞かせなどお話しの世界を楽しむ時間の提供しました。
幼児クラブ（登録制）	5月～2月	未就学児親子対象の子育て支援活動、季節の制作や運動遊びを取り入れ親子で楽しいひと時を楽しみました。
にこにこタイム（子育てサロン）	5月～2月	親子でいろいろな製作を楽しみながら、ゆったりとしたふれあいの時間をもちました。

### (3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
子どもの安全story	8月、11月 1月	「こどものあんぜん」を中心に各企業の視点から「こどもを守る安全とはなにか？」考え、様々な工夫・協力し合い、互いに学び合う環境を作ることを目指し、3回にわたり健全育成に貢献しました。
ゆきだるまつり	1月	年に1度のじどうかんまつりとして位置づけ、地域の方々と一緒に地域の子育てを応援する企画として開催しました。
海で遊ぼうin浦戸野の島	8月	利府町内の3年生から6年生を対象に浦戸野の島に行き、島の人のお手伝いやカヌー、カヤック、島めぐりをするデイキャンプを実施し、島の人との交流をしました。
けん玉ワークショップ	2月	石巻よりストリートけん玉の講師を招き、けん玉の楽しみ方や技を習った。最終的には、参加者全員がけん玉の技ができるようになりました。
児童館サポート研修	5月～2月	児童館・放課後児童クラブの職員が常に向上心を持ち、利用者が楽しんで過ごしてもらうための専門職として必要不可欠な勉強会となりました。

評価（5段階）	評価理由
S	コロナウイルス感染拡大防止5類になり、安全対策を講じながら様々な事業を展開した。また、外部機関との連携を図りながら活動を充実させている。

## 5. 利用者の満足度

### (1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	児童館児童クラブ利用者アンケート（対象者：自由来館者、児童クラブ利用者）
目標値の基準	グーグルフォームでの意見回収方法を取り、2週間実施。コロナ禍であるため回収目標40%としました。

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(%)	40.0%	40.0%			
実績値(%)	53.0%	25.0%			
達成度(%)	132.5%	62.5%			

### (2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
利用者アンケート	11月	管理運営団体より、児童館児童クラブ利用者アンケート（対象者：自由来館者、児童クラブ利用者）を実施しました。

評価（5段階）	評価理由
B	利用者アンケートのサンプル数が少なく分析が難しいと感じている。また、アンケート後のフィードバックの手法についても、再度検討してほしい。

## 6. 経営状況

### (1)施設の収支概要

項目	令和5年度予算	令和5年度決算	予算決算比
収入 (a)	43,753,000	43,753,000	0
指定管理料	43,753,000	43,753,000	0
利用料金収入			0
(うち、減免補填額)			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)	43,753,000	43,753,000	0
人件費	36,484,000	36,708,975	224,975
事務事業費	2,409,000	2,068,727	-340,273
維持管理費	1,504,000	3,080,043	1,576,043
その他の支出	3,356,000	1,895,255	-1,460,745
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考	人件費：法定福利費を含む		

### (2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	健全な財政状況である。
------	-------------

評価 (5段階)	評価理由
A	維持管理費である電気料金の高騰により支出が大幅に増えているが、指定管理料の範囲内で運営しているので適正である。

## 7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認し、実施した。
実施時期	令和6年6月27日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
有	新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったもの児童厚生施設のため、感染予防を年頭に手さぐりながらも事業を展開した。

評価（5段階）	評価理由
S	常に、安全管理を行いながら、積極的に各種事業を行っていた。

## 8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

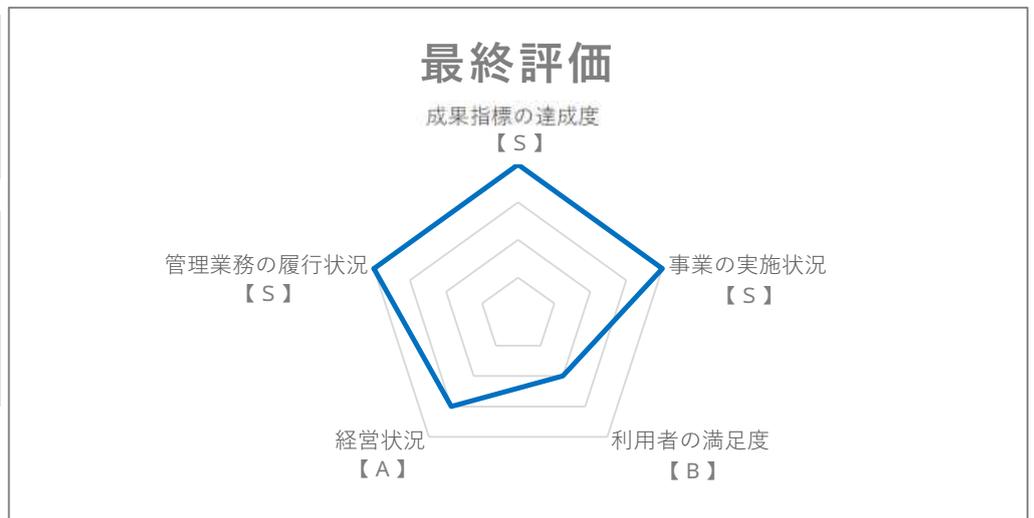
自己評価点数	健やかな子どもの成長発達および、その自立を図る事を地域の中で具現化する「児童福祉施設」という事を踏まえ、改正児童館ガイドラインに沿った運営を念頭に、児童クラブ統括・東部児童館と共に参加する環境づくりを進めてきました。これからも地域や保護者様のご協力を得て、地域とつながる行事を実施する事ができる様に努めて行きます。 利用者アンケートを実施したが、なかなか集まらなかったこともあり、施設側の発信力、周知を整えていかなくてはいけないと感じた。利用者している大人の声、子どもの声をより多く集め、児童館運営に反映させていただきます。
55	
自己総合評価	
A	

## 9. 所管課意見

新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったものの、児童館内での各種事業を展開する際、最大限の注意を払いながらも積極的に事業を行っており、多くの方々に参加頂いている。 また、新たな試みとしてInstagramを開設し、情報発信に今まで以上に力を入れていたと感じている。 しかしながら、利用者アンケートのサンプル数が少なく、各種事業の分析などが難しかったため、手法について再度検討し、今後の児童館運営に活かしていただきたい。
---

## 最終評価

総合点数
85
最終評価
S



評価年度

令和 5 年度

1. 事業実施状況

(1) 指定事業

※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
<b>児童館事業</b>				
児童館 (児童健全育成事業) (地域交流推進事業)	24回	「子どもの笑顔と元気な声ひびく児童館」そして、『地域に生きる・地域と生きる』をスローガンに掲げ、利府西部地域の人々や関係機関と緩やかに手をつなぎ、こどもたちの居場所について考え実践してきました。それは子ども基本法を根底に置き、児童館でしかできない切れ目のない支援を実践するために乳幼児期から中高生期までのゴールデンルートととらえ、連続した関わりを地域と連携しながら育成してきました。	○	○
児童クラブ (放課後児童健全育成事業)	10回	児童クラブ運営指針にもある「子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援」「保護者との連携」「こどもの発達理解」を柱に、利府町児童クラブ条例に従った運営を行いました。こどもが自発的に児童クラブに通えるよう生活の中で以下の7つの項目を意識しデイリープログラムを充実させています。「①あそび」「②くつろぎ」「③生活に必要なこと」「④自主的に学習する」「⑤集団で生活するために必要なことを身に着ける」「⑥静養する」「⑦季節の行事・文化的活動を行う」これらを安全と安心に留意しながら運営してまいりました。	◎	○
子育て広場 (子育て支援事業)	34回	子育て支援は0～18歳までの児童ということを再確認し、産後からではなく、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を様々な機関と連携しながら実践してきました。それは、妊娠期からの子育て、乳幼児親子の活動など、親子で楽しむ身体あそび、おはなし会、造形あそびや音楽あそび等みんなで楽しさを体験できる場を提供し、また「親と子の育ちの場」としてコミュニケーションを根底に実践してきました。	△	△
評価点			6	5

## (2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
<b>児童館事業</b>				
小中高生定例企画 みんなであそぼう	9回	100名参加 子どもたちの「やってみよう！」をりふボラ（小学4年生～中学生を対象とした活動）から吸上げ、参加したみんなが楽しく過ごせるものを実施しました。	○	○
小中高生定例企画 子どもボランティア りふボラ	10回	85名参加 子どもボランティアとして、児童館行事のお手伝いや、自分たちで企画した行事を実施。企画した行事・菅谷台夏祭り手伝い・ハロウィン行事手伝いをしました。	◎	◎
りふ～るのHappy ハロウィン!!	1回	63名参加 年に1回の収穫祭、ハロウィンにちなんで、仮装して過ごします。最後は、地域に出て仮装行列をして近隣の方に協力をいただき、子どもたちにお菓子を配りました。	◎	◎
地域の人と遊ぼう	1回	地域の方々で結成する「更生保護女性会」の皆さんと子どもたちと触れ合う遊びを実施します。団体の皆さんとお互いに顔の見える関係ができ、世代間交流にもつながりました。	△	△
保育所交流	2回	36名参加 近隣の保育所の年長さんを招いて、児童館の探検をしたり、どんな遊びがあるのか体験する企画でした。	○	○
ゆきだるまーけっと	1回	コロナ禍の時に子どもたちの声から始まりました。自分たちの作品を町内のお店などに飾り、笑顔になることにより、元気になってもらうという企画です。作品は約3週間で制作から展示までの長い期間をかけて実施しました。	◎	○
<b>児童クラブ事業</b>				
プラバンづくり	1回	34名参加 自分の好きなデザインをキーホルダーにする企画。絵を描いたプラバンオープンの中でいろいろな形をしながら出来上がっていくところを楽しみました。	△	△
わんこそうめん	1回	75名参加 小学校終業式後、みんなでそうめんをひたすら食べる企画。思った以上に子どもたちは楽しんで食べていました。	○	○
じゃがいも掘り	1回	49名参加 子どもたち自身が、畑の土づくりから育てたジャガイモを収穫する企画。思っていた以上に収穫でき、数個ずつおうちに持って帰り食べてもらいました。	◎	◎
ちいさなちいさな夏祭り	1回	57名参加 夏休み中のお楽しみ行事として、水ヨーヨー釣りや千本引き・しおり作り・かき氷を食べて遊びました。	◎	◎
カレーを食べよう	1回	70名参加 自分たちが畑で育て、収穫したジャガイモを使い、カレーライスにして食べる企画をしました。	○	○
いももち作り	1回	39名参加 収穫したジャガイモが思った以上に取れたので、みんなでいももちをつくり食べる企画をしました。	○	○
クリスマスお楽しみ会	1回	53名参加 児童クラブでの活動の中で、子どもたちが自分たちで企画し、普段遊びの中で練習してきた出し物をみんなの前で披露するお楽しみ会をしました。	◎	○
大掃除大作戦	1回	26名参加 みんながあそんでいる児童館、物を大切にすることを大事にみんなで大掃除をしてあそぶ企画をしました。	○	○
初詣に行こう	1回	15名参加 地域を知る、歴史を知ること念頭に、新しい年を迎え、地域の神様に挨拶に行く企画しました。	△	△

りふ〜る☆駄菓子屋さん	1回	54名参加 地域の企業さんよりいただいたお菓子を子どもたち自身が考え、みんなで楽しめる企画として開催しました。	○	○
<b>子育て広場事業</b>				
『はい！タッチ』 ・きら☆リズム、ナーサリズム	6回	35名参加 英語のわらべ歌やふれあい遊びを体験する「ナーサリー広場」、音楽で遊ぶ「きら☆リズム」、その2つと一緒に「ナーサリズム」を統合し活動しました。	◎	○
おはなしのひ	10回	36名参加 親子で手遊び、わらべうた、紙芝居、読み聞かせなどお話しの世界を楽しむ時間の提供しました。	○	○
幼児クラブ（登録制）	7回	70名参加 未就学児親子対象の子育て支援活動、季節の制作や運動遊びを取り入れ親子で楽しいひと時を楽しみました。	△	△
にこにこタイム （子育てサロン）	9回	86名参加 親子でいろいろな製作を楽しみながら、ゆったりとしたふれあいの時間をもちました。	△	△
評価点			42	39

### (3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
子どもの安全story 「宮城スバル×JAF×児童館」	8月	51名参加 「こどものあんぜん」を中心に各企業の視点から「こどもを守る安全となはにか？」考え、様々な工夫・協力し合い、互いに学び合う環境を作ることを目指し、健全育成に貢献します。「交通安全 車からのメッセージ」
子どもの安全story 「JAF×児童館」	11月	30名参加 子どもが横断歩道を渡るとき、道路を横切るとき、自転車が後ろから来た時、自転車で走るときなど互いに細心の注意を払わなくてはなりません。交通安全を考えることは子どもたちを守るだけでなく、自分自身も守ることにつながります。「交通安全 横断歩道からのメッセージ」
子どもの安全story 「SECOM×児童館」	1月	44名参加 子どもが日常の中で、犯罪の被害にあうことが急激に増えています。子どもを犯罪から守るためには、保護者、学校関係、地域の方々を含め大人みんなで、子どもたちの犯罪被害にあわないためにも注意することと共に、子どもたちが「自分の身を自分で守る」ことを身につけることも大切です。「防犯 自分をMAMORU あなたをMAMORU」
ゆきだるまつり	1月	98名参加 本来1月は雪の多い時期でもあり、冬にちなんだ「じどうかんまつり」を開催。地域の方や企業の方の協力のもと、利府町の子どもたちに楽しんでほしいと思い、開催しました。
海で遊ぼうin浦戸野の島	8月	37名参加 利府町内の3年生から6年生を対象に浦戸野の島に行き、島の人のお手伝いやカヌー、カヤック、島めぐりをするデイキャンプを実施し、島の人との交流をしました。
けん玉ワークショップ	2月	16名参加 石巻よりストリートけん玉の講師を招き、けん玉の楽しみ方や技を習った。最終的には、参加者全員がけん玉の技ができるようになりました。
児童館サポート研修	5月～2月	年間4回開催 児童館・放課後児童クラブの職員が常に向上心を持ち、利用者が楽しんで過ごしてもらうための専門職として必要不可欠な勉強会となりました。

自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
指定事業	3	6	6
提案事業	20	40	42
自主事業	7		7
合計	30	46	55

町評価集計	事業数	基礎点	実績点
指定事業	3	6	5
提案事業	20	40	39
自主事業	7		7
合計	30	46	51

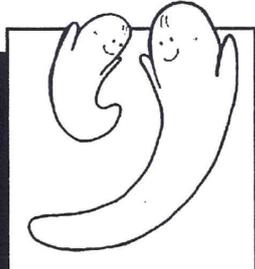
## 2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（5段階）	自己評価理由	評価（%）
A	<p>○児童健全育成事業/地域交流推進事業 誰でも利用できる居場所としての機能として、「何ができるのか。」という視点を変え、実施できる様に心掛けました。子どもたちからの発信力を大切に、子どもたちの手づくり作品を町内の公共施設やお店などに飾ってもらう事業の実施。近隣の保育施設との交流など、アウトプットだけでなく、「おもしろさ」「楽しさ」を仲間と共有できる様に年間の活動を意識し、必要に応じて外部機関との連携を図りながら活動を充実させてきました。</p> <p>○子育て支援事業 保護者や日中見守りをしている祖父母などに幼児の成長に関わる必要な情報提供を行いました。乳幼児期の子育ての不安やストレス解消の支援、保護者の仲間づくり、子どもの友だちづくりの支援なども行うとともに虐待やDV、発育遅滞などの早期発見を心がけました。</p> <p>○放課後児童クラブ 子どもの健全な育成と遊びおよび生活の支援、保護者との連携、子どもの発達理解を柱に、自発的に児童クラブで過ごせるよう生活の中に①あそび・②くつろぎ・③生活習慣の定着・④自主学習・⑤集団生活での必要な事・⑥静養などを意識しデイリープログラムを充実させてきました。利府町統括・東部児童館とこまめに連絡を取り、児童クラブの子どもの環境を整えてきました。子どもたちや保護者の不安な気持ちを聞いたり、小・中学校や町の担当課とも連携を図り、公園での子どもたちの遊びを見守り、情報交換を密に行っていました。</p>	120%

町評価（5段階）	町評価理由	評価（%）
A	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったものの、児童館内での各種事業を展開する際、最大限の注意を払いながらも積極的に事業を行っており、多くの方々に参加頂いている。特に、子育て広場の運営や自主事業の企画など、リピーターが多く児童館事業が定着していると感じている。</p> <p>また、新たな試みとしてInstagramを開設し、情報発信に今まで以上に力を入れており、子どもたちの様子など、見やすく分かりやすく発信している。</p> <p>しかしながら、利用者アンケートのサンプル数が少なく、各種事業の分析などが難しかったため、手法について再度検討し、今後の児童館運営に活かしていただきたい。</p>	111%

# 【参考】活動状況等の写真

『りふちょうせいぶじどうかんだより（3月号）』



りふちょうせいぶじどうかん

# りふちょうせいぶじどうかん だより

りふ〜る

2024.3月号 No.151  
利府町西部児童館  
〒981-0135 利府町菅谷台 3-16  
Tel 022-781-9895

○開館時間：月曜日～土曜日  
午前9時～午後6時

○休館日：日曜日・祝日・年末年始 ホームページ <http://kodomonooka.com>



**ケアオイル  
ワークショップ**

**バルーンアート  
ワークショップ**

**おさがり&  
とりかえっこ**

**ほっと☆モグッと**

**あったか〜い豚汁**

**ジュニアリーダーと  
あそぼう!**

**スノーファンタジー  
コーナー**

**インドア雪合戦**

利府町西部児童館  
ゆきだるまつり  
2024年1月20日(土)

「児童館は、街のほっこりステーション」を合言葉に全世代が繋がる地域参加型のプログラム。  
当日は、地域の方にもお手伝いを頂き、総勢110名の来場者数となり、まったり楽しい「ゆきだるまつり」となりました！  
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。